2024年度 宇治市地域自立支援協議会高齢部会活動報告

1. 部会の目的

既存の社会資源のコーディネーター・活用、新しい社会資源の形成。
高齢・生活困窮・障害の分野にまたがる困難ケース解決の方向を図る。

2. 活動概要

医療・福祉の制度、新しく創設される制度等の共有や勉強。介護保険サービスへのスムーズな移行について検討。高齢・生活困窮・障害等の困難ケースのケース検討。

3. 主な参画団体

委託相談支援事業所、指定特定相談支援事業所（4事業所）
宇治市役所：長寿生きがい課、介護保険課、生活支援課、地域福祉課、障害福祉課

4. 今年度の部会開催日及び開催内容

	開催日	開催内容
1	5月14日	地域自立支援協議会の説明。今年度の取り組み内容の確認。
2	7月1日	部会長の任期、副部会長の設置について決定。ケース検討。
3	9月2日	介護保険サービスへの移行の流れや課題の共有。ケース検討。
4	11月12日	ケアマネジャーからの課題抽出、今後の連携方法について検討。ケース検討。
5	1月15日	ケアマネジャーと相談支援専門員との交流、連携の具体的な方法について検討。ケース検討。
6	3月3日	今年度の振り返り・次年度に向けて、事例検討。

5. 現状と次年度以降への課題

- ① 高齢の両親と障害を持つ本人の世帯で、困難な状況にあるケースについて、部会の中でそれぞれの知識や経験を活用した意見交換を行い、積極的に解決に向けて検討ができた。次年度も継続したい。
- ② 障害を持つ本人が65歳に達し、障害福祉サービスから介護保険サービスへ移行する際の課題が現場のケアマネジャーから具体的に抽出することができたことで、課題解決のために必要な連携方法は何かを市の担当課をまたいで検討してきた。
次年度は、その連携方法を実現していくために引き続き検討を行っていく。

報告者 部会長 相談支援事業所おうばく 谷口 祐子